

AREC・Fiiプラザ 第143回リレー講演会

機器組み込みソフトウェア分野

■日時：平成25年3月21日（木） 15:00~18:00 ※終了後、交流会開催

■場所：AREC [上田市産学官連携支援施設] 4階

(上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内 Tel:0268-21-4377)

講演1

15:00~16:00

演題 『農場データを収集するフィールドモニタリングデバイスの開発と運用』

講師：信州大学大学院 理工学系研究科 助教 小林 一樹 氏

概要 農作物の高品質化や増産、生産効率の向上を目的として、データに基づく科学的な農業に関する研究が国内外で行われている。気象データや農作業データは作物の生長や病害虫発生の予測をはじめ、生産者の意思決定支援や栽培技術の高度化などに利用できる可能性がある。本講演では、農場や農作業に関する情報を収集するための技術に焦点を当て、センシングやネットワーク、クラウドなどを活用したフィールドモニタリングデバイスに関する研究を紹介する。

講演2

16:00~17:00

演題 『VRICS 技術を用いた入退室カードリーダーの組み込みシステム』

講師：アルファデザイン株式会社 AG総合管理部事業企画室シニアマネージャー 白鳥 俊幸 氏

概要 ICカード認証により入退室管理を行うカードリーダーの組み込みシステムについて紹介をします。当社カードリーダーは九州大学で開発された権利権限管理技術（VRICS）を用いたICカード認証システムを組み込んでおり、九州大学各キャンパス施設で利用されています。運用事例と共に、VRICS技術を用いた入退室管理システム全般についても紹介をします。

休憩

講演3

17:00~18:00

演題 『組み込みプログラムにおける品質確保の取り組みと今後の動向について』

講師：マリモ電子工業株式会社 技術部課長 瀬在 淑光 氏

概要 品質確保への取り組みと、今後の組み込み分野におけるモデルベース開発の動向について紹介をします。当社では、作業品質・精度の向上を目指し、プロセスフローをベースとした独自のプロジェクト管理手法を運用しています。その事例と、昨今の開発規模の増大に対応するため、テスト工程でツールを利用した事例を紹介をします。また、今後の開発の主流になるとと思われるモデルベース開発の組み込み分野への適応について紹介をします。

主催:AREC・Fiiプラザ/財団法人上田繊維科学振興会 共催:公益財団法人長野県テクノ財団 浅間テクノポリス地域センター

●お申込先 AREC・Fiiプラザ事務局 宛

メール (mousikomi@arecplaza.jp) またはファックス (0268-21-4382) でお申し込みください。

AREC・Fiiプラザ 第143回リレー講演会 参加申込書

(平成25年3月21日)

企業・機関名			
参加者名			
所属・役職	電話番号		
メールアドレス	ファックス番号		

※ご記入いただいた個人情報(御社名、所属・役職、氏名)は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用いたしません